

農事組合法人

舩作興農組合

農事組合法人舩作興農組合とは

昭和51年、日本海に突き出た深浦町、その地名は黄金崎で戸数20戸の海岸段丘地（標高50～200m）を活用して農業だけで生きる道を目指した漁師仲間が設立した農事組合法人です。

組合結成と同時にだいこんの栽培に取り組み、一次加工施設を設置し契約栽培を始めた。その後、経営規模の拡大に取り組み現在では、140ヘクタールの耕地に、にんじん、だいこん、ばれいしょ等の根菜類を中心に緑肥栽培を組み入れた輪作体系を確立し、法人経営の模範となり、昭和62年には朝日農業賞を受賞しました。



雪中人参は世界自然遺産白神山地の麓にある広大な農場で育ちます。津軽の厳しい寒さが格別のおいしさを生みだすのです。



寒さによって甘くなる人参ですが、土が凍ってしまうとだめになってしまいます。それを防ぐのが雪の役目。雪による速やかな湿り気もみずみずしい人参が育つには必要な要素の一つです。



いよいよ収穫開始。雪を払いながら大事な人参を傷つけないよう一つ一つ手で掘り起こしていきます。豪雪をかきわけての手作業に感動。



おいしい人参を届けるために毎日毎日愛情たっぷり注いで作っています。おいしく味わってくださいね！



〒038-2327 青森県西津軽郡深浦町舩作字堰根152

TEL:0173-75-2120 FAX:0173-75-2121

